

もとす教道研会報 第35号 令和3年8月31日

発行所:岐阜もとすモラロジー事務所
Tel/Fax 058-324-7756

総会・講演会を開きました!

令和3年7月31日(土)午前10時過ぎ、岐阜もとすモラロジー事務所において、もとす教育者道徳研究会総会並びに実践発表会を無事開くことができました。2年続きのコロナ禍の状況下、時期も含め対面での是非を思案しました。ご多用中にも拘らず参加していただきました皆様、誠に有難うございました。当日は12名ご参加でした。

総会の進行を谷村副会長、挨拶と役員紹介を森山会長、昨年度会務報告を森山書記・土川前会計、監査報告を神原監査、今年度活動案を森山書記、予算案を鈴木書記が行い、それぞれ承認されました。最後は、神谷副会長の挨拶により総会が無事終了しました。

森山会長の挨拶要旨「この会は旧本巣郡2市1町にお住まいかお勤めの方でつくる(生き方を考える)会です。各市町の教育委員会はじめ校長会、岐阜もとすモラロジー事務所等多くの方々に支えられ、今年13年目を迎えることができました。令和3年4月公益財団法人モラロジー道徳教育財団と改め「道徳で人と社会を幸せに」を指針に活動しています。これを受けて私共も道徳教育振興の一助になることをめざし、学校の子どもたちや先生のお役に立つよう頑張りたいと思います」



左から 谷村副会長、土川前会計、神原監査、鈴木会計、神谷副会長

令和3年度 もとす教育者道徳研究会役員・理事

顧問	林 明夫	北方町教育委員
会長	森山 政紀	岐阜県モラロジー協議会事務局長
副会長	谷村 三奈	瑞穂市立本田小学校教頭
	大野 琴美	本巣市立一色小学校教頭
	北村あずさ	北方町立北方中学校教頭
	神谷 肇	岐阜もとすモラロジー事務所顧問
書記	森山 政紀	兼務
会計	鈴木 伸一	瑞穂市立穂積小学校教諭
監査	神原 重典	岐阜もとすモラロジー事務所顧問
	山本 峯夫	岐阜もとすモラロジー事務所教育者担当
理事	土川 恵美	瑞穂市立本田小学校長
	長谷川昇児	北方町立図書館長
	森 健治	岐阜もとすモラロジー事務所副代表

※今年度、理事枠の本巣市道徳部会顧問は空席

令和3年度 今後の主な活動計画

8月 4日(水) 第58回岐阜県道徳教育研究大会岐阜羽島会場
13:00 羽島市福祉ふれあい会館

※申込連絡者の参加費(千円)を岐阜もとす事務所・本会が負担。

12月25日(土) 役員・理事会 17:00 北方町きらり会議室

2月19日(土) 実践研究会 10:00 北方町きらり

※市町を代表して道徳教育の実践を発表してくださる方を募集します。自薦・他薦大歓迎(今年度は、特に本巣市・北方町から)

◎活動を報告する会報カラー版を年3回(今年は8月、9月、3月)発行・配布の予定です。

実践発表：総合的な道德教育の開発と実践

発表者：植田さゆり氏（本巣小教諭）

植田先生には、平成29年度実践研究会（2018年2月）に発表をしていただきました。その後、専門性を追求されるために岐阜大学で学ばれ、その成果を昨年度発表していただく予定でしたが中止となり、今回の実践発表とさせていただきます。



発表中の植田さゆり先生

「道德科と特別活動、総合的な学習の時間に関連付けて」

副題の通り、道德教育で育てようとしている道德性を高めるために、子どもたちの生活に意図的・計画的な働きかけをして、道德科の充実を図るねらいがあります。年間計画を「パッケージ型ユニット」と考え、「課題追求型」のカリキュラムを開発し、特別活動(以下**特活**)や総合的な学習の時間(以下**総合**)と結び付けて、子どもたちの道德性を豊かにするという試みです。

「令和2年度の実践」構想から

校長の示す学校経営ビジョンを基に、めざす子どもの姿を道德科でどう構想するかがポイントです。学校の別業・重点目標から「道德的テーマ」を設定し、道德科・特活・総合の「学習（活動）サイクル」を示したものが「ステージ制の構想」になります。



左から進行：大野副会長、熱心に聞き入る参加者の皆様

例えば、3年生1学期の6月は、道德的テーマ「クラスの仲間を笑顔にしよう」で、特活「友達ビンゴ」・総合「臼井さんとの出会いの会」・道德科「よろしくギフト C-15 集団生活の充実」を通して、「児童の振り返りに安心感や1年間の学校生活に対する意欲に関連する言葉が書かれているかを検証する」こととなります

「令和2年度の実践」子どもたちを通じた実践から

令和2年度はしばらく学級の仲間とも会えない特殊な状況でした。学活「友達ビンゴ」は、分散登校で一堂には会えない仲間の存在を思いお互いをもっとよく知ろうという意欲につながりました。振り返りカードで自己肯定感の低かった抽出児童に特に着目することにしました。道德「よろしくギフト」では、登場人物の言動から、自分の得意なことを出せばみんなを笑顔にすることが出来るのではないかという意欲と態度が見えました。総合では、出会いの会で仲間の頑張りを認め合うことが出来、柿畑見学では臼井さんから「収穫までお世話する班の一本を任せられる」サプライズで感謝と共に最高潮の意欲がお礼の手紙に示されました。一連の活動を学級通信にて紹介しますと強力な見守り応援隊になっていただきました。7月は…（以下略）

成果として、①道德的テーマを位置づけたことは学びが重層化し、児童に道德性がより根づきやすいことです。②総合との関連づけでは人や自然にふれることで憧れや感謝の心が満たされ道德授業での深い学びにつながりました。③道德授業で耕された心情や態度は、特活や日常生活での実践意欲が高まりやすいということです。（以下略）

実践発表を受け、参加者からはお礼の感想や質問が出されました。これらを踏まえて、林顧問からは適切な講評をしていただきました。



開催出来た全てのことに感謝です。

【構成・森山】

左から大羽幸恵先生（北方小）、福田辰雄先生（本巣小）、林明夫顧問